

平成26年度事務事業評価調書

整理番号	22	枝番	1
評価担当課	建設水道部 都市整備課		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	橋梁長寿命化事業			
総合計画の位置づけ	有 ・ 無	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
		主要施策	12	道路の整備
		基本事業	6	橋梁の整備
		実施計画事業	1	橋梁長寿命化事業

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	橋梁長寿命化修繕計画を策定することにより、従来の事後的な修繕及び架替えから予防的な修繕及び計画的な架替えへと円滑な政策転換を図るとともに、費用の縮減を図りつつ、地域の安全性・信頼性を確保することを目的とする。			
対象(何を又は誰を)	市民			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	橋梁点検結果により策定した修繕計画にそって橋梁の修繕をする。			
意図(どのような成果を期待しているか)	橋梁の修繕を計画的に行い安全なまちづくりに寄与する。			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	直 営	一部委託	全部委託	補助等 請負 その他()
事業実施期間	始期	H21 年度	終期設定	有 (終期 H28 年度) ・ 無
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H23	H24	H25	H26見込	目標年度 (H28年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 橋梁点検	橋	目標	113	102	—	—	H24に橋梁点検終了
			実績	113	102	—	—	
	2 橋梁修繕計画	橋	目標	—	—	244	—	H25単年で橋梁修繕計画策定
			実績	—	—	244	—	
	3 橋梁修繕	橋	目標	—	—	—	—	H27～H36で26橋修繕予定 H27に1橋、H28に1橋予定
			実績	—	—	—	—	
成果指標	1 目標率 達成率	%	目標	100	100	100	—	
			実績	100	100	100	—	
	2		目標					
			実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H23決算	H24決算	H25決算	H26予算	平成25年度の事業費内訳	
事業費	13,913	8,726	13,986	0	橋梁長寿命化修繕計画策定委託業務 C=13,986千円 244橋	
国道支出金	7,780	5,671	9,090	0		
地方債	0	0	0	0		
その他	0	0	0	0		
一般財源	6,133	3,055	4,896	0		
人件費	2,673	1,988	1,940	—		
平均給与額	6,683	6,628	6,468	6,468		
担当職員数	0.4	0.3	0.3	—		
総事業費	16,586	10,714	15,926	0		
対前年比(%)	—	65	149	—	コストの算出方法	
事業コスト	活動指標1	147	105	65	—	総事業費(千円)／点検・計画橋梁(橋)
	活動指標2					
	活動指標3					

※H26年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	今後、国庫補助事業(交付金)の減額が予想され橋梁修繕の進捗に影響してくると思われる。
改善点	指摘事項 <input type="radio"/> 有 () <input checked="" type="radio"/> 無

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	本事業は、総計実施計画搭載事業である。安心安全な市民生活を送るうえで、橋梁の整備は早期完成が望まれる。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	快適で安全な都市環境には橋梁整備は不可欠である。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	橋梁整備の財源は、国庫補助金(交付金)や起債の対象とすることで、効率的な財政計画が図られる。計画策定による優先順位をしっかりと位置づけ、緊急な修繕の必要のある橋梁と緊急には用しない橋梁を見極め、検討を行いコスト削減を図りたい。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがいいのか？	a	橋梁修繕は、公共性のある事業なので、受益者負担の対象とはならない。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	橋梁点検から計画策定と順調に進捗しているので活動指標、成果指標とも達成している。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	国の方針で進捗状況は左右されるが、市民の安心安全なまちづくりのために事業完了に向け継続することが必要である。	
A: 現状のまま継続	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
B: 進め方を改善		
C: 規模・内容を見直し D: 抜本的な見直し(廃止・縮小)		

6 ワーキンググループ(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり